

管理職がシッカリしないと部下が可哀そう！

ある調査によると、部下に信頼され、部下にとって魅力的な存在と言われる上司に共通する管理職像には次の5つがあげられているようです。

- ①部下を信頼する態度を持つ
- ②庶民性に富んでいる（いわば、近づき易い）
- ③おおらかさを持っている
- ④実行力がある
- ⑤部下の長所を積極的に伸ばす

この反対の人材像が、いわゆる、嫌われる上司像ということになるが、人柄が良く、業務知識が豊かな優等生的なリーダーに部下が心からついてくるか？ という、決してそうでもない。円満な人格とか、豊富な業務知識というものは、管理職が身につけておかなければならない必須項目ではあるが、どうも、これだけでは駄目で、自然と部下を引きつけ、一体感をもって仕事をやるには①から⑤の要素を兼ね備えていることが必要とされている。

会社で働く人間の欲求には、金銭的なもの、社会的なもの、自己実現的なものの三つに分けることができるが、部下の長所を認めず、これを引き立てることをしなかったら、ことさら自己実現的なものを抑えてしまうこととなります。

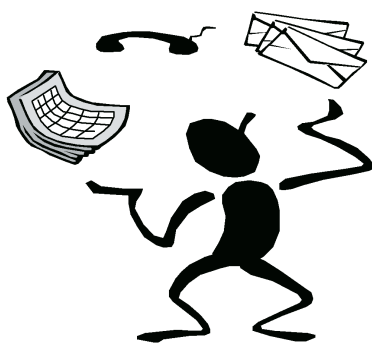
このように、人間本来の欲求に強く制約を感じさせる上司には魅力を感じないことになるのです。

同じことはその他の項目についても言えます。常に部下を疑いの眼差しで見つめ、お高くとまって庶民性を失っても駄目だし、こまごまとした事を注意するだけで実行力を欠いても、部下を引き付けるリーダーにはなり得ません！

魅力ある管理職というのは、日頃、非常に厳しい態度をとっていても、それが業務に忠実なものであれば、それについてくるものです。ところが、上司にはペコペコ、部下にはきつく当たる！ 管理職と一般の社員とは身分が違うのだ！ 等の考えを少しでも持てば、信頼される上司には決してなり得ないし、部下が可哀そうな状態に陥ります。

YAMADA の管理職は一生懸命さを基本に部下に対し礼儀を尽くし、No-4 でお伝えしたように部下の身になって行動できるよう日頃から心掛けてほしい。

部下に伸びやかに
働いてもらう



その環境を整える
姿勢が大切

ワンポイントアドバイス

心得

- ・弱きを助け、強きを控(くじ)く
- ・人のふり見て我がふり直せ
- ・聞くは一時の恥、聞かぬは末代の恥